



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月30日

東

上場会社名 株式会社Genki Global Dining Concepts 上場取引所
 コード番号 9828 URL <https://www.genki-gdc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 藤尾 益造
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 櫻井 宏樹 (TEL) 03-6824-9200
 コーポレート本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	総販売額		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	42,597	28.3	23,699	37.4	1,639	10.5	1,630	2.5	1,021	△2.1
2026年3月期第1四半期	33,200	1.9	17,242	5.7	1,483	△18.2	1,590	△14.4	1,044	△14.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,060百万円(8.9%) 2026年3月期第1四半期 973百万円(△28.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	57.87	—
2026年3月期第1四半期	59.13	—

※ 総販売額は、売上高からフランチャイズ契約先からのロイヤリティ収入を除き、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の店舗売上高を合算したものであります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	72,131	19,866	27.5
2026年3月期	59,484	19,420	32.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 19,866百万円 2026年3月期 19,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

※ 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	103,000	39.7	6,000	25.1	5,900	12.5	3,300	△5.5
								186.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 27社(社名) Food Odyssey Pty. Ltd. 及 除外 一社(社名)
び同社子会社26社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	17,765,816株	2026年3月期	17,765,816株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	106,290株	2026年3月期	106,290株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	17,659,526株	2026年3月期1Q	17,657,568株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等により、緩やかな回復が継続いたしました。一方で、先行きにつきましては、中東情勢を受けた原油価格上昇を起点とした物価上昇を背景に不透明な状況が続いております。

外食産業においては食料品の値上げの影響で消費マインドの低下が見られる中、顧客獲得競争が引き続き激しい状況にあります。さらに原材料・エネルギー価格高騰に伴う店舗関連の設備費・物流費のコストアップ、人件費の上昇もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、2026年5月に新たな中期経営計画を策定し、原材料調達力やマーケティング力の一層の強化、グローバル戦略の推進に注力し、国内市場及びグローバル市場の双方において戦略的な事業展開を実施してまいりました。

また、2026年4月2日付で、オーストラリアにおいて寿司チェーン「Sushi Sushi」を約180店舗展開するFood Odyssey Pty. Ltd.の株式を取得し、同社及びその子会社を連結子会社といたしました。なお、当第1四半期連結累計期間においては同社及びその子会社の貸借対照表のみを連結しており、経営成績については第2四半期連結会計期間から連結いたします。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高236億9千9百万円（前年同期比37.4%増）、営業利益16億3千9百万円（前年同期比10.5%増）、経常利益16億3千万円（前年同期比2.5%増）といずれも前年同期を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加により10億2千1百万円（前年同期比2.1%減）と減益となりました。

(国内事業)

国内事業におきましては、お客様の節約志向を踏まえ、お値打ち感のある商品を訴求することで来店促進を図り、客数の増加に努めてまいりました。また、フェア商品につきましては人気キャラクターを起用したIPコラボレーションキャンペーンに加え、お手頃感のあるメニューの充実を図ることで、客単価上昇とともにお客様の満足度向上を目指してまいりました。

店舗展開につきましては、「大阪焼肉 うま勝」2号店を栃木県那須塩原市に出店したほか、「千両」南芦屋浜店（兵庫県芦屋市）、「魚べい」壬生店（栃木県壬生町）等計4店舗出店したことから、国内の総店舗数は197店舗となりました。また、店舗改装は、「魚べい」業態で1店舗実施いたしました。

この結果、国内事業の経営成績は、売上高164億9千7百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益9億7千7百万円（前年同期比3.6%減）となりました。売上高は客数の増加により、前年を上回る結果となったものの、セグメント利益は、原価上昇により、前年同期を下回る結果となりました。

なお、国内店舗は全て直営店舗であります。

(グローバル事業)

グローバル事業につきましては、着実な出店の増加とフランチャイズ事業にかかるロイヤリティ収入の確保に向けて推進しております。フランチャイズエリアでは、現地パートナー企業との連携を強化し、ブランド価値向上に取り組んでおります。また、米国子会社においては、5月にラーメン事業をハワイ州で開始。既存店の収益力向上を図るとともに、本年度中にオープンを予定しているカジュアル&バー形態の新規事業立ち上げに注力しております。

店舗展開につきましては、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗で、2店舗出店し、1店舗退店したことにより244店舗となり、海外の総店舗数はフランチャイズ店と直営12店舗合わせて、256店舗となりました。

この結果、グローバル事業の経営成績は、売上高26億4千5百万円（前年同期比22.8%増）、セグメント利益4億8千万円（前年同期比2.5%増）となりました。

グローバル事業の売上高の内訳は、米国子会社の店舗売上高16億6千万円（前年同期比31.0%増）、フランチャイズ契約先への食材等売却による売上高4億7千4百万円（前年同期比3.3%増）、フランチャイズ契約先からのロイヤリティ収入（海外店舗売上高の一定率等）5億1千万円（前年同期比19.2%増）等であります。

なお、ロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の売上高の合計は、215億4千3百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

（その他）

その他の区分には、前連結会計年度より新たにグループに加わった(株)ゴダック及び(株)神戸まるかん並びに養殖事業を含んでおります。その他の経営成績は売上高47億1千7百万円、セグメント利益2億2千4百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の総販売額は、425億9千7百万円（前年同期比28.3%増）となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における店舗売上高及び当該期間末の店舗数の状況は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減
店舗売上高			
国 内	15,087百万円	16,497百万円	1,409百万円
グローバル	18,113百万円	21,543百万円	3,430百万円
店舗売上高合計	33,200百万円	38,040百万円	4,839百万円
店舗数（四半期末時点）			
国 内	192店	197店	5店
グローバル	242店	256店	14店
店舗数合計	434店	453店	19店

（注）店舗売上高及び店舗数のグローバルは、米国子会社の店舗売上高及びロイヤリティ収入の対象となる海外店舗の売上高或いは店舗数を合算しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ126億4千7百万円増加し、721億3千1百万円となりました。これは主に、連結範囲の変更に伴う、有形固定資産の増加58億3千5百万円及びのれんの増加168億3千5百万円があった一方で、子会社株式取得に伴う現預金の減少160億8千7百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ122億1百万円増加し、522億6千5百万円となりました。これは主に、連結範囲の変更に伴う、リース債務の増加58億4千1百万円及び長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の増加35億2千6百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億4千5百万円増加し、198億6千6百万円となりました。これは主に、配当金の支払による減少6億1千8百万円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上10億2千1百万円があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は5.1ポイント減少し、27.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ160億8千7百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には124億4百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、19億2千万円(前年同期比15億9千3百万円増加)となりました。これは主に、法人税等の支払額が8億9千万円減少したこと及び仕入債務が8億2千2百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、163億2千1百万円(前年同期比155億5千3百万円増加)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出148億5千3百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、17億1千3百万円(前年同期比4億9千2百万円増加)となりました。これは主に、短期借入金19億9千3百万円が減少した一方、長期借入金15億5千万円を新たに調達したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,492	12,404
売掛金	4,270	4,552
商品及び製品	4,677	5,573
原材料及び貯蔵品	63	82
その他	782	2,165
貸倒引当金	△5	△39
流動資産合計	38,280	24,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,395	16,062
土地	949	949
リース資産	5,880	5,548
その他	6,271	11,573
減価償却累計額	△14,416	△16,217
有形固定資産合計	12,079	17,915
無形固定資産		
のれん	—	16,835
その他	585	616
無形固定資産合計	585	17,452
投資その他の資産		
差入保証金	4,276	4,248
その他	4,263	7,777
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,539	12,025
固定資産合計	21,204	47,393
資産合計	59,484	72,131

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,301	4,386
短期借入金	20,493	18,500
1年内返済予定の長期借入金	1,437	4,081
未払法人税等	659	540
賞与引当金	338	192
資産除去債務	6	20
その他	4,635	8,257
流動負債合計	30,872	35,978
固定負債		
長期借入金	3,358	4,240
リース債務	4,509	10,350
資産除去債務	1,072	1,312
その他	250	383
固定負債合計	9,191	16,286
負債合計	40,063	52,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,407	2,407
利益剰余金	16,461	16,869
自己株式	△76	△76
株主資本合計	18,892	19,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	5
為替換算調整勘定	521	560
その他の包括利益累計額合計	528	565
純資産合計	19,420	19,866
負債純資産合計	59,484	72,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,242	23,699
売上原価	7,211	12,115
売上総利益	10,031	11,584
販売費及び一般管理費	8,548	9,945
営業利益	1,483	1,639
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	17
受取賃貸料	2	1
受取手数料	58	40
その他	61	40
営業外収益合計	137	98
営業外費用		
支払利息	14	86
その他	15	21
営業外費用合計	30	107
経常利益	1,590	1,630
税金等調整前四半期純利益	1,590	1,630
法人税、住民税及び事業税	334	520
法人税等調整額	211	87
法人税等合計	546	608
四半期純利益	1,044	1,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,044	1,021

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,044	1,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△1
為替換算調整勘定	△70	39
その他の包括利益合計	△70	38
四半期包括利益	973	1,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	973	1,060

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,590	1,630
減価償却費	472	474
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△237	△146
受取利息及び受取配当金	△16	△17
支払利息	14	86
売上債権の増減額 (△は増加)	345	138
棚卸資産の増減額 (△は増加)	26	△361
仕入債務の増減額 (△は減少)	△255	567
その他	△75	260
小計	1,863	2,631
利息及び配当金の受取額	6	16
利息の支払額	△14	△89
法人税等の支払額	△1,528	△638
営業活動によるキャッシュ・フロー	327	1,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△794	△946
無形固定資産の取得による支出	△22	△58
差入保証金の差入による支出	△17	△44
差入保証金の回収による収入	66	62
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△15,165
子会社株式の取得による支出	—	△11
関係会社株式の取得による支出	—	△44
関係会社貸付けによる支出	—	△74
その他	—	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△768	△16,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△1,993
長期借入れによる収入	—	1,550
長期借入金の返済による支出	△307	△491
リース債務の返済による支出	△206	△161
配当金の支払額	△706	△618
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,221	△1,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,710	△16,087
現金及び現金同等物の期首残高	11,952	28,492
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,241	12,404

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

株式の取得により新たにFood Odyssey Pty. Ltd. 及びその子会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びにFood Odyssey Pty. Ltd. 社株式の取得価額とFood Odyssey Pty. Ltd. 社取得のための支出(純額)との関係は次のとおりです。なお、当第1四半期連結累計期間末において、取得原価の配分が完了しておらず、その時点で入手可能な合理的情報に基づき、暫定的に算定された金額であります。

流動資産	2,399百万円
固定資産	8,906
のれん	16,835
流動負債	△6,069
固定負債	△6,620
新株予約権	△35
連結子会社の取得価額	15,415百万円
連結子会社の現金及び現金同等物	△250
差引：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	15,165百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,087	2,154	17,242	—	17,242
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	15,087	2,154	17,242	—	17,242
セグメント利益	1,014	469	1,483	—	1,483

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	グローバル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,497	2,645	19,142	4,556	23,699	—	23,699
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	160	160	△160	—
計	16,497	2,645	19,142	4,717	23,859	△160	23,699
セグメント利益	977	480	1,457	224	1,682	△43	1,639

(注) 1. セグメント売上高△160百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

セグメント利益の調整額△43百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、以下のとおりFood Odyssey Pty. Ltd.の株式を取得し、子会社化することについて決議し、2026年4月2日に株式譲渡契約に基づき実行いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称および事業の内容：

名称 Food Odyssey Pty. Ltd.

事業内容 飲食店の運営およびフランチャイズ事業

②企業結合を行った主な理由：

当社グループは海外事業の拡大を中長期的な成長戦略の中核と位置付けております。対象会社はオーストラリアにおいて「Sushi Sushi」ブランドで寿司事業を展開し、約180店舗を運営するマーケットリーダーとして高いブランド認知を有しております。本件株式取得を通じて、当社の事業ノウハウやサプライヤーネットワーク等を活用し、対象会社および同ブランドのさらなる成長を支援するとともに、当社グループの海外事業基盤の強化および企業価値の向上を図ることを目的としております。

③企業結合日

2026年4月2日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率：100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	15,415百万円
取得原価		15,415百万円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 327百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんのご金額

16,835百万円

なお、当第1四半期連結会計期間末におきましては、識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、暫定に算定された金額であります。

②発生原因

取得原価が受け入れた資産及び受け入れた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして処理計上しております。

③償却方法及び償却期間

償却期間は、現在算定中であり、取得原価の配分が完了したのれんのご金額を確定し次第、決定いたします。

(5) 企業結合日に受け入れられた資産及び負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,399	百万円
固定資産	8,906	
資産合計	11,305	
流動負債	6,069	
固定負債	6,620	
負債合計	12,690	

上記には、企業結合日の前に被取得企業が計上していたのれん及び識別可能無形資産を含めておりません。